



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 バッファロー

コード番号 3352 URL <http://www.buffalo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 坂本 裕二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 日下部 直喜

TEL 048-227-8860

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,466	0.8	3	△92.5	61	△39.4	34	△45.9
27年3月期第3四半期	6,416	△1.0	48	△73.2	100	△60.4	63	△57.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	16.57	—
27年3月期第3四半期	30.63	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
28年3月期第3四半期	6,365	—	4,400	—	69.1	2,134.42	—	
27年3月期	5,967	—	4,427	—	74.2	2,147.69	—	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 4,400百万円 27年3月期 4,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,591	0.8	55	△41.0	130	△24.0	74	△8.8	35.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成28年1月29日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	2,061,600 株	27年3月期	2,061,600 株
28年3月期3Q	137 株	27年3月期	137 株
28年3月期3Q	2,061,463 株	27年3月期3Q	2,061,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、円安と原油安を背景に企業収益は緩やかな回復基調で推移しましたが、中国・新興国経済の減速と米国が利上げ局面に入ったことによる外需環境の変化等、景気の先行きは不透明感を増しております。また、雇用環境は引き続き良好となっているものの、物価の上昇傾向により実質賃金が伸び悩み、個人消費の回復は緩慢な状況となっております。

カー用品市場におきましては、エコカー減税の基準厳格化と軽自動車税増税の影響による新車販売台数の前年割れが続き、また、12月が例年にない温暖な気候となったことでスタッドレスタイヤやタイヤチェーン等の冬季商品の需要が大幅に減少し、厳しい事業環境を強いられました。

この様な環境において当社は、平成26年9月に株式会社サイケイから事業承継した2店舗の販売力強化に努め、平成27年7月にリロケーションを行った「オートボックス坂戸店」をはじめとした既存店の活性化に、継続して取り組んでまいりました。

事業継承した2店舗が通期営業となり増収に寄与するとともに、車検顧客確保に向けた早期予約キャンペーン等の取り組みと、迅速・廉価に車体を補修できる板金・塗装サービス「クイック・エコ・リペア」の拡販が好調に進捗したことで、ピット・サービス工賃部門の売上高は前年同期比10.0%増、また、当期より新車・中古車買取販売の取り扱いを2店舗から7店舗に増強した自動車部門の売上高は、同99.3%増となりました。しかしながら、スタッドレスタイヤとタイヤチェーンの販売不振により、タイヤ・ホイール部門の売上高は前年同期比14.8%減、車内用品・車外用品部門の売上高は同13.3%減となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,466,995千円(前年同期比0.8%増)となりましたが、人件費等の増加により営業利益3,648千円(同92.5%減)、経常利益61,073千円(同39.4%減)、四半期純利益34,158千円(同45.9%減)となりました。

各品目別の売上高及び構成比率は次のとおりであります。

品目別の売上高及び構成比率

(記載金額は百万円未満を切捨)

品目	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前事業年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
ピット・サービス工賃	1,587	24.7	1,745	27.0	2,138	25.1
タイヤ・ホイール	1,752	27.3	1,492	23.1	2,219	26.0
カーエレクトロニクス	862	13.5	980	15.2	1,129	13.3
車内用品・車外用品	1,064	16.6	923	14.3	1,454	17.1
オイル・バッテリー	490	7.7	505	7.8	668	7.8
カースポーツ	463	7.2	444	6.9	608	7.1
自動車	150	2.3	299	4.6	240	2.8
その他	45	0.7	74	1.1	66	0.8
合計	6,416	100.0	6,466	100.0	8,525	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ6.7%、397,852千円増加し6,365,124千円となりました。これは主に、売掛金、商品及び建物の増加に対して、現金及び預金の減少等があったためであります。

負債は、前事業年度末に比べ27.6%、425,217千円増加し1,965,101千円となりました。これは主に、買掛金、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の増加等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ0.6%、27,364千円減少し4,400,022千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に対して配当金の支払等があったためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期決算の業績及び今後の業界動向等を踏まえて、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成28年1月29日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期会計期間から適用し、取得関連費用を発生した事業年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,772	949,947
売掛金	373,292	588,059
商品	1,042,007	1,437,982
その他	322,762	445,034
流動資産合計	3,172,834	3,421,024
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	577,885	747,531
土地	422,678	422,678
その他(純額)	383,143	398,696
有形固定資産合計	1,383,707	1,568,906
無形固定資産	64,667	60,748
投資その他の資産		
差入保証金	1,044,174	972,826
その他	301,888	341,618
投資その他の資産合計	1,346,063	1,314,445
固定資産合計	2,794,437	2,944,099
資産合計	5,967,271	6,365,124
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,067	578,878
1年内返済予定の長期借入金	91,572	128,616
未払法人税等	73,907	41,239
賞与引当金	99,554	52,236
ポイント引当金	38,257	31,499
資産除去債務	5,000	—
その他	348,898	328,397
流動負債合計	881,255	1,160,866
固定負債		
長期借入金	169,300	242,850
退職給付引当金	322,798	347,502
資産除去債務	67,940	77,204
その他	98,588	136,677
固定負債合計	658,627	804,234
負債合計	1,539,883	1,965,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,506	510,506
資本剰余金	485,244	485,244
利益剰余金	3,431,372	3,403,686
自己株式	△117	△117
株主資本合計	4,427,006	4,399,320
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	380	701
評価・換算差額等合計	380	701
純資産合計	4,427,387	4,400,022
負債純資産合計	5,967,271	6,365,124

(2) 四半期損益計算書
 (第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,416,282	6,466,995
売上原価	3,451,032	3,466,876
売上総利益	2,965,250	3,000,118
販売費及び一般管理費	2,916,862	2,996,470
営業利益	48,387	3,648
営業外収益		
受取利息	9,062	9,829
受取手数料	24,795	25,115
その他	30,319	39,407
営業外収益合計	64,177	74,352
営業外費用		
支払利息	4,500	4,069
たな卸資産除却損	—	4,295
店舗復旧費用	—	5,824
のれん償却額	3,719	—
その他	3,495	2,737
営業外費用合計	11,714	16,927
経常利益	100,850	61,073
特別利益		
受取保険金	13,002	—
特別利益合計	13,002	—
特別損失		
災害による損失	6,821	—
特別損失合計	6,821	—
税引前四半期純利益	107,031	61,073
法人税、住民税及び事業税	34,523	40,724
法人税等調整額	9,357	△13,809
法人税等合計	43,880	26,915
四半期純利益	63,150	34,158

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、各店舗を基礎としたカー用品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。